



広報誌

SUMMER

か・け・は・と

こころの虹

OIKAWA HOSPITAL INFORMATION KOKORO no KAKEHASHI

ホームページ <https://www.oikawahp.or.jp> Eメール info@oikawahp.or.jp

編集・発行

医療法人 にゅうわ会

及川病院

〒810-0014

福岡市中央区平尾2丁目21-16

TEL 092-522-5411

NO. 57 2026 年 07 月 発行



糸島 二見ヶ浦海岸

～院長挨拶～

及川将弘



今年も七夕の季節がやってまいりました。当院でも、乳腺病棟・緩和ケア病棟に笹を設置し、患者様やご家族、職員が、それぞれの願いを込めて短冊を飾りました。私も、「乳がんで命を落とす方がいなくなりますように」と願いを込めて短冊を掛けました。これは、及川病院が掲げる大切なビジョンの一つでもあります。では、その願いに、私たちはどれほど近づいているのでしょうか。乳がんは、早期に発見し適切な治療を行うことで、高い治療成績が期待できるがんの一つです。一方で、今なお乳がんで命を落とされる方が少なくないことも、私たちが決して忘れてはならない現実です。

近年、乳がん診療は大きく進歩してきました。手術療法は、必要な治療効果を保ちながら、できるだけ身体への負担を小さくする方向へと発展しています。また、薬物療法の進歩も目覚ましく、ホルモン療法、分子標的治療、免疫療法、抗体薬物複合体（ADC）など、患者様一人ひとりの病状やがんの性質に応じた治療選択肢が広がっています。

本年 5 月末から 6 月にかけて米国シカゴで開催された米国臨床腫瘍学会（ASCO）でも、乳がんに関する多くの研究成果が報告されました。こうした新しい知見は、慎重な検証と承認の過程を経て、やがて日常診療にも導入されていくものと期待されます。

世界標準の治療を速やかに、そして患者様一人ひとりにふさわしい形でお届けすることは、乳腺専門病院である当院の大切な使命です。また、標準治療となる前の新しい治療や治験についても、患者様が機会を逃すことのないよう、必要に応じてがんセンターなどの専門機関へおつなぎすることを心がけています。

「乳がんで命を落とす方がいなくなる」という願いの実現には、まだ時間がかかるかもしれません。それでも、早期発見、正確な診断、適切な標準治療、新しい治療への橋渡し、そして患者様とご家族を支えるケア。その一つひとつを積み重ねることが、この願いに近づく道であると信じています。職員一同、これからも今できることを精一杯行なってまいります。



レントゲン室に骨密度測定装置を新しく導入しました

～骨密度検査とは～

X線装置を使って、腰や股関節などの骨量を測定し、骨密度を推定する検査です。出てきた値と平均値を比較します。骨密度が低下していると骨折するリスクが高くなります。この装置では現在最も主流であるDXA法を用いて骨密度を測定します。

(この方法は最も誤差が少ないと言われています。)

当院では主に乳癌治療でホルモン療法を行っている患者様を対象に半年～1年に1回経過観察目的で検査をしています。

(検査が必要かどうかは主治医の判断になります。)



結果はこんな感じで表示されます。

職員交流 納涼会

6月中旬に納涼会を開催しました。

当日はおいしい食事を囲みながら部署を越えた交流が深まり、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。普段は接する機会の少ない職員同士も会話が花が咲き、笑顔あふれるひとときとなりました。

また、会の中では、新たな門出を迎えられる小林先生へ感謝の気持ちを込めて花束を贈呈しました。参加者から温かい拍手が送られ、これまでのご尽力に感謝を伝える心温まる場面となりました。

今後もこのような交流の機会を大切にし、職員同士のつながりを深めながら、より良い職場づくりにつなげてまいります。

週刊現代に掲載されました

2026年7月6日発行の週刊現代の特集「学会が認めた全国246病院を一挙紹介 あなたの街の最高の病院とクリニック 女性のがんの名医編」に及川病院が掲載されました。また、及川将弘院長のインタビューも掲載されております。

院内に雑誌を置いてありますので、興味のある方はぜひご覧ください。

以下、院長のインタビュー内容を一部ご紹介いたします。



「当院の乳がんの手術の症例は年間300弱ほどで、5年無遠隔再発生存率は93%と高く、大病院にも決して引けを取らないレベルです。治療実績を上げるのはもちろんのこと、患者さんの内面もケアするよう心がけています。たとえば当院では何曜日に来て、外来で女性の医師に診てもらえるようシフトを組んでいます。抗がん剤を投与すると髪の毛が抜け落ちてしまいますが、治療の際に頭を冷やすと生えそろうのが早くなることがわかっています。髪が生えてこないことで思い悩んでしまう患者さんも少なくないので、頭皮冷却の機械も導入済みです。」

乳がん検診啓発活動の報告

～母の日キャンペーン～

今年度も乳がん検診啓発活動として5月に母の日キャンペーンを行いました。

「つなげよう 大切な人への 検診バトン」をテーマに、ご自身やご家族のためにも大切な身体と一緒に守ってほしいという思いを込めて2名以上で検診を受けられた方へプレゼントもご用意させていただきました。18名、合計9組の方が対象となりプレゼントをお渡しいたしました。

乳がん検診を「母の日」のプレゼントにするのはいかがでしょうか。

今回のイベントを機会に乳がん検診をより身近に感じていただけたら幸いです。

今後も早期発見のためにより多くの方が乳がん検診に興味を持っていただけるように検診啓発活動を行っていきたいと考えております。

～AYA week～

3月のAYA weekに対象年齢（39歳まで）の方向けに検診キャンペーンを行い、期間に先駆けて、2月にAYA世代の乳がんについて知っていただくためのイベントを行いました。イベントでは、参加者の方に向けて当院の院長より、AYA世代の乳がん治療の現状や、乳がん検診によるがんの早期発見の重要性などについて講演を行い、その後、マンモグラフィーの装置などを見学をしていただきました。イベントの中で、実際に乳がんを体験されたサバイバーの方からAYA世代の方に向けてメッセージをいただきましたが、そこでも皆さんが、定期的な乳がん検診の大切さや、早期発見・早期治療の重要性について伝えて下さっていたのが印象的でした。及川病院では今後も様々な取り組みを通して、若い世代の方にも積極的に検診を受けていただけるよう、活動していきたいと考えています。



新しい職員(医師・役職者)の紹介

常勤医師 大津香奈絵

今年度より及川病院に赴任しました大津香奈絵と申します。九州大学第一外科の関連総合病院で他科の医師やコメディカルと協力しながら、乳腺診療の研鑽を積んできました。

乳腺外科に来られる患者さんは乳房という女性にとって大切な部分に対する様々な不安、悩みを抱えておられます。しかし、診察室は緊張するのではなかなか言い出せないことも多くあります。私の信念としまして、必ず、患者さんの表情をみながら、検診でも乳癌治療においても、気になることはないかおききするようにしています。特に告知後などは医師には言い出せない不安もあるので、看護師にきいてもらったりして、少しでも患者さんの心理的負担を共有できるように努めております。治療法においても、ご家族の意見も大事ですが、ご本人が我慢して自分の意志を抑えてしまうことも多々見受けられますので、ときにはご本人だけにして本心をきくこともし、その上で納得いく後悔のない治療ができるように心がけています。語弊はあるかもしれませんが、「カフェのような気軽に来られる、何でも話せる」外来診療を重視しています。そのために、日々新規治療薬の導入や治療法が目まぐるしく変わっていく乳腺診療において、常に最新の知識を提案できるように日々努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 三島潤子

令和8年4月より看護部長を務めさせていただくことになりました三島潤子と申します。

当院は乳がん医療と緩和医療を担う専門病院として、専門的な知識・技術を集結したチーム医療の提供を目指しています。医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、どのような状況にあっても、患者さまの“その人らしく生きること”を『やさしさと思いやり』を持って支え、患者さまやご家族に信頼され心の通い合う医療に努めていくという私たちの使命は変わりません。そのためにも、職員同士がチームとして協働し、互いを尊重し感謝の気持ちを忘れず、支え合える温かい職場でありたいと考えています。微力ではありますが、ご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

薬剤部長 河野健太郎

このたび、薬剤部長として着任いたしました河野と申します。乳腺外科と緩和ケアを専門とする当院において、薬剤部が果たす役割は、治療の質と患者さんの生活を支える大切な基盤だと感じております。がん薬物療法の安全性向上や、痛みを和らげるための薬物管理など、患者さんが安心して治療に向き合える環境づくりに努めてまいります。

また、医師・看護師・相談応需・地域連携など多職種と連携し、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を実現できるよう、薬剤師としての専門性をさらに高めていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

緩和ケア病棟の季節行事～桜まつり～

緩和ケア病棟では、季節に合わせた行事を行っています。

4月には桜まつりを行いました。

先生が花咲か爺さんの恰好をして病室を回り、

患者様と一緒に春の訪れを祝いました。

患者様やご家族と桜と一緒に記念撮影を行い、

和やかな時間を過ごすことができました。

7月は七夕祭りを予定しています。



緩和ケア科稲光医師(左)と病室にて。

※患者様より掲載許可頂いています。

当院の管理栄養士オススメ！食欲が落ちやすい夏にぴったりの豚しゃぶサラダ！

手軽に作れて、野菜やドレッシングを変えるだけでさまざまな味わいが楽しめます。

<材料(2人分)>

豚ロース薄切り肉(しゃぶしゃぶ用) …200g

レタス、サニーレタスなど……………6枚

きゅうり……………1本

ミニトマト……………10個

<ドレッシング>

米酢……………大さじ2

ごま油……………大さじ1

玉ねぎのすりおろし……………1/8個分

塩……………小さじ1/2

粗びき黒こしょう……………少々

しょうゆ……………大さじ1/2

(1人分 343kcal)

<作り方>

- ① レタス、サニーレタスは洗って水気をきり、ひと口大にちぎる。きゅうりは縦半分に切って斜め薄切りにする。ミニトマトはヘタを除いて縦半分に切る。
- ② 鍋にたっぷりの湯を沸かし、豚肉を広げながら入れる。泳がすようにして、全体が白くなるまで10～12秒ゆで、ペーパータオルにのせて冷ます。
- ③ ボウルにドレッシングの材料を入れてよく混ぜる。
- ④ ①、②を合わせてボウルに入れ、③をかけてふんわりあえ、器に盛る。

ポイント

豚肉はゆですぎてしまうと味が抜け、かたくなっておいしくないなので気をつけて。全体が白っぽくなったらずぐに湯から引き上げる。



2025年 手術実績 <確かな実績で安心と信頼の治療を提供します>

- ◆年間手術件数 439 例 (良性・悪性すべての手術を含む)
- ◆原発乳がん手術数 287 例 (乳房温存手術数 148 例)
- ◆乳房全切除術数 143 例 (一次同時再建術数 26 例)
- ◆センチネルリンパ節生検数 250 例 実施



医療法人にゅうわ会
及川病院
BREAST CARE HOSPITAL

〒810-0014 福岡市中央区平尾 2-21-16

Tel:092-522-5411 Fax:092-522-6244

HP:<https://www.oikawahp.or.jp/>

本院インスタグラム



医療法人にゅうわ会

及川病院
六本松乳腺クリニック
BREAST CARE HOSPITAL ROPPONMATSU BREAST CARE CLINIC

〒810-0044 福岡市中央区六本松 4-2-2

[六本松 421]2F クリニックゾーン

Tel:092-406-8172 Fax:092-406-8182

HP: <https://www.oikawahp.or.jp/ropponmatsu/>

六本松乳腺クリニックの
ご予約はこちらから

